

## 2024. 6. 21 令和6年度 教育研究集会、ありがとうございました

先週末、令和6年度 附属幼稚園・義務教育学校の教育研究集会が行われました。研究集会にご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

午前の保育の時間、子供たちはたくさんの先生方に見られていましたが、いつも通りの姿だったような気がします。自分のやりたいことを自分のしたい場所でやり、そして、子供たち同士のトラブルもいつも通り起きる。公開保育だからといって、全園児を巻き込んだお部屋さんごっこか〇〇ランドというような大きなイベント的な遊びをするのではなく、年長で言えば、じっくりポケモンのブレスレットを作る子、モンスターボールを投げてカードを増やし続ける子、お母さんへのプレゼントを作る子、最近続いているチアダンスの観覧チケットをつくり出す子、廊下を手作り車でひたすら往復する子、外での鬼ごっこに疲れて、築山のトンネルの中で休憩をしてその涼しさに感動する子など、遊びも多種多様。予想はしつつも、当日にならないとわからない保育の公開でした。

以前勤務していた園で、〇〇ランドというようなドーン！とした遊びを見ていただいていた時代を振り返ると、見せる保育を考えれば考えるほど、子供たちの文脈から離れていたのかもしれないと思います。それでは、公開保育は何を見てもらうのか。たくさんの遊びの選択肢の中で子供たちがやりたいことをいきいきとしている姿を見ていただき、その子供たちの姿を核にして、育ちや学び、保育者の関わり、願いについて語り合うことに公開保育の意味がある。この園にいてすごくそれを思います。

そのためには、日頃から子供たちがいきいき遊び、生活するための我々の保育の質の向上が必須なのだと改めて思います。日々悩み、さまよいながら保育を進めています、1日1日を大切に頑張っていきたいと思います。

